技能試験・日本語試験の概要

技能試験

「介護特定技能評価試験（技能）」

- ○ 試験言語：現地語
- ○ 実施主体：厚生労働省（※1）
- ○ 実施方法：コンピューター・ベースド・テスティング（CBT）方式
- ○ 開始時期：平成31年４月
- ○ 試験構成：試験時間60分、問題数45問（学科試験40問、実技試験５問）
- ○ 合格基準：各年度ごとに設定（令和８年度は問題の総得点の60%以上）

日本語試験

「国際交流基金日本語基礎テスト」（※2）

- ○ 実施主体：独立行政法人国際交流基金（注）
- ○ 実施方法：コンピューター・ベースド・テスティング（CBT）方式
- ○ 開始時期：平成31年４月
- ○ 試験構成：試験時間60分、問題数約50問
- ○ 合格基準：250満点中200点以上（A2.2相当以上）

＋

「介護特定技能評価試験（日本語）」

- ○ 実施主体：厚生労働省（※1）
- ○ 実施方法：コンピューター・ベースド・テスティング（CBT）方式
- ○ 開始時期：平成31年４月
- ○ 試験構成：試験時間30分、問題数15問
- ○ 合格基準：各年度ごとに設定（令和８年度は問題の総得点の73%以上）

（※1）試験実施及び運営等は、「介護特定技能評価試験実施事業」（厚生労働省補助事業）の補助事業者において行っている。なお、試験開始当初から、プロメトリック株式会社が当該事業を実施している。

（※2）又は「日本語能力試験（N4以上）」